

第 2 回学校運営協議会 議事録

日時：令和 2 年 12 月 3 日(木) 14:00~15:30

場所：本校セミナー多目的室

司会：山田 尚子 (副校長)

記録：横井 力也 (広報創発 G)

出席者：郷原 熊谷 竹原 小池 勝股 山田 神林 石坂 齊藤 宮澤 阿部 梅本 内藤 平間

欠席者：井上 佐々木 金森 辺見

【1】：副校長より 本年度の本校教育活動について

(1)：学校概況

- ・教職員の構成は学校要覧と変わらない。
- ・来年度の生徒募集は 9 クラス、358 名の募集を行う。

(2)：コロナ禍での教育活動

- ・3月から5月まで臨時休校

⇒健康観察の実施やリモートでの HR(Google クラブルームを活用)の実施。

生徒の学習機会の確保や学習状況の確認が必要であるため課題の提出や映像授業の配信など、各教職員の取り組みが行われた。

- ・6月からの分散登校

⇒当初は 1 クラス 2 分割の分散登校を実施(市松模様での着席)

現在も時差登校と組み合わせた通常登校を実施(今年度中は実施)

- ・行事等

⇒校外学習や体育祭、1 学期球技大会等は中止。2 学期の文化祭は時期を例年より遅くして 10 月に実施(一日のみで外部見学はなし)。また、卒業式は 3 月 2 日に予定しているが状況を見極めて判断する。

- ・入試について

⇒願書受付は来校せずに郵送による願書受付。また県からの通知により 1 クラス 35 名程度で学力検査実施。合格発表については県の通知待ちの状態。

【2】：各グループより

(1)：カリキュラム G

- ・コロナ対応

コロナによる学習の遅れをどうサポートしていくか

⇒土曜授業可という県からの通知があったが、本校は希望者を募り土曜講習で対応を行った。主要 3 教科(国数英)では多数の希望者が集まった。特に 1 年生にその傾向が顕著に見受けられた。また、3 年生には受験対応の土曜講習や長期休業中の講習で対応。現在では少しずつ例年の授業進度に追い付いている。

- ・令和 4 年度実施の新カリキュラム

1 単位=1750 分を確保して、最終調整に入っている。

- ・外部講座

Add-on 講座は 7 月から開始⇒例年より人数は少なくなっている。

スタディサプリは有料だが 300 名程度の登録

(2)：生徒保健 G

・今年度の概況

昨年度は特別指導が多かったが、本年度はほとんど発生していない。

外部からの苦情が増加(コロナ関連・バス乗車マナーなど)

⇒マスクの着用を徹底、車内での会話を控える、本校以外の乗客を優先させるなど対応

・校内でのコロナ対応

健康観察を実施(体温を毎日記入)、消毒作業を教職員で実施(現在も)

(3)：生徒活動支援 G

「部活動の加入率増・行事への参加意識向上」をグループ目標

・部活動

新入生への部活動勧誘がコロナの影響であまりできなかったが、校内にポスターを掲示するなど勧誘を続けたため、部活加入率が大きく下がることはなかった。

・行事

体育祭は中止

文化祭も慎重に検討し平日1日のみで開催

⇒調理なし、体育館イベントはリモート配信等の制約があったが、生徒の一層の創意工夫を見ることができた。(食販に頼らないクラスの出し物)

(4)：キャリア支援 G

「生徒の希望進路の実現のためにどのようなサポートができるか」をグループ目標

・今年度の概況

コロナの影響で情報が少ない中で、集めた情報を活用するように努めた。

⇒生徒への説明も zoom 等を利用しながらリモート配信

推薦入試でも zoom を活用した大学等もある。

⇒本校の機器を用いて練習し、本番に臨む生徒へも対応した。

・推薦入試【指定校・公募制等】

7月末に成績が確定し8月下旬に公募制・指定校が受けられるかが確定した。

⇒入試制度の変化やコロナの影響等で推薦入試を選択する生徒が増加
短大や専門(看護系など)を志望した生徒が多かった⇒コロナの影響か(学費等)

(5)：広報・創発 G

・広報活動

コロナ禍で学校説明会を3回(都筑公会堂2階・本校1回・合計1400名来校)実施することができた。また、学校見学会(8月の土曜日4回と12月5日)も実施することができた。

Twitter等のSHSを活用し、学校の情報を定期的に伝達することができた。

・more

サルスチーム：今年はコロナの影響もあり、ラジオ放送は1回しかできなかった。

2年生が中心となり今後の放送を行っていく。

三日月チーム；商店街とのコラボレーションを行うチームだが、コロナの影響もあり活動が進まなかった。今後、少しずつ商店街のお店に交渉していく予定。

寸劇チーム：セルクルとの協力で自転車事故防止の動画撮影、大場地域ケアプラザの協力で振込め詐欺防止の動画撮影を行うことができた。

グッズチーム：社会状況に合わせたグッズを製作する予定。

マイアースチーム：コロナの影響で活動が休止していたが、少しずつ再開する予定。

(6)：学校管理 G

・PTA

PTA 総会資料を 4 月 28 日付で送付。生徒の課題等も総会資料に同封し生徒の学習機会を確保することができた。

・今年度の活動

情報伝達訓練(5 月 20 日)、シェイクアウト訓練(8 月 31 日)、地域防災訓練(10 月 5 日)
教職員対象 AED 訓練(12 月 24 日予定)

今年度の特徴として防災意識より感染症対策の意識の方が強い印象がある。

(7)：アントレプレナーシップ

・今年度の概況

今年度のアントレの人数は 31 名と前年と比較し減少。来年度は 40 名と微増
9 月 1 日に今年度初の三角ベースに行くことができた。また、東急や横浜市そして電通などの協力で、2 学期は「次世代街づくり」を探究することができた。来年以降も活気のある活動を展開したいと考えている。

【3】：質疑応答

- ・竹原：リモートとリアルの学びをどう作っていくか。また、アントレでは探究の学びをどう活かしていくか。コーディネーター力がある人が増えれば良い。
more は部活や同好会にしないのか。桐蔭学園には探究の同好会が存在する。
- ・小池：コロナ禍で無事に教育活動ができており感謝している。
アントレでは手紙を書く文化が減っているので高校生に手紙を書いてもらえるような活動をしてみてはどうか？
- ・熊谷：会費が多く残っている。教員の負担軽減、学校で必要なものを購入できる。
青葉区の地域消防団に参加してほしい。
担当者が説明する機会があれば来校する(18 歳以上の希望者)。